



那覇ターミナル管制所
那覇特別管制区 (PCA)
運用開始

沖縄Approachから那覇Approachへ

日本航空機操縦士協会 沖縄支部



1. 日本初 Class B空域誕生

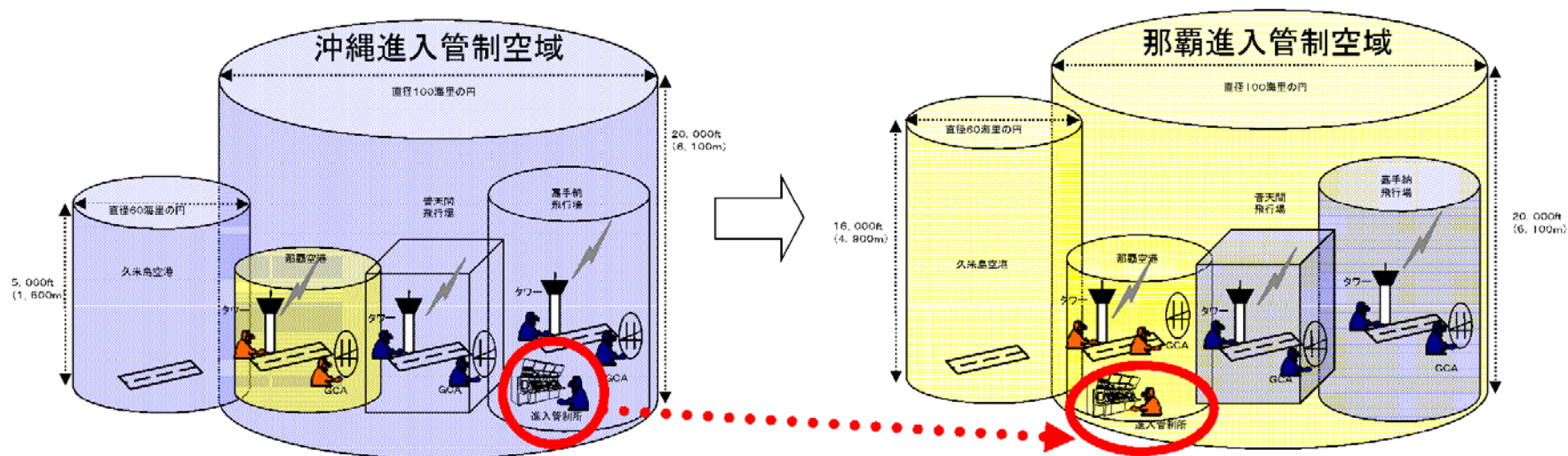
2010年3月31日、沖縄の空に新たな1ページが開かれた。





1972年5月1日の本土復帰から38年、やっと沖縄の空も日本に返還され、**那覇進入管制区**と同時に、日本初の**Class B空域 那覇特別管制区 (Naha Positive Control Area<PCA>)**が誕生した。

また、それに伴いコールサインも“沖縄アプローチ”から『**那覇アプローチ**』に変更され、**日本人の管制官による日本の航空法に基づく進入管制業務**が正式に運用開始された。



2. 進入管制区の移管



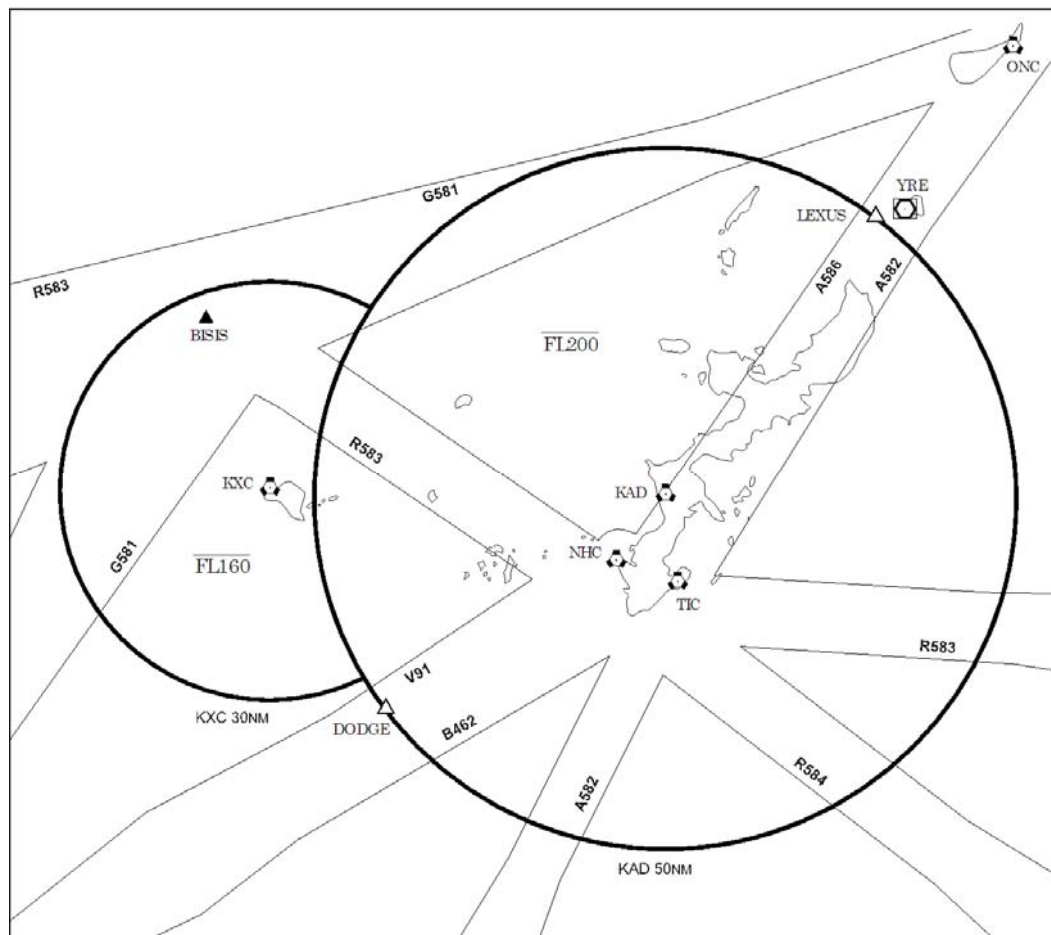
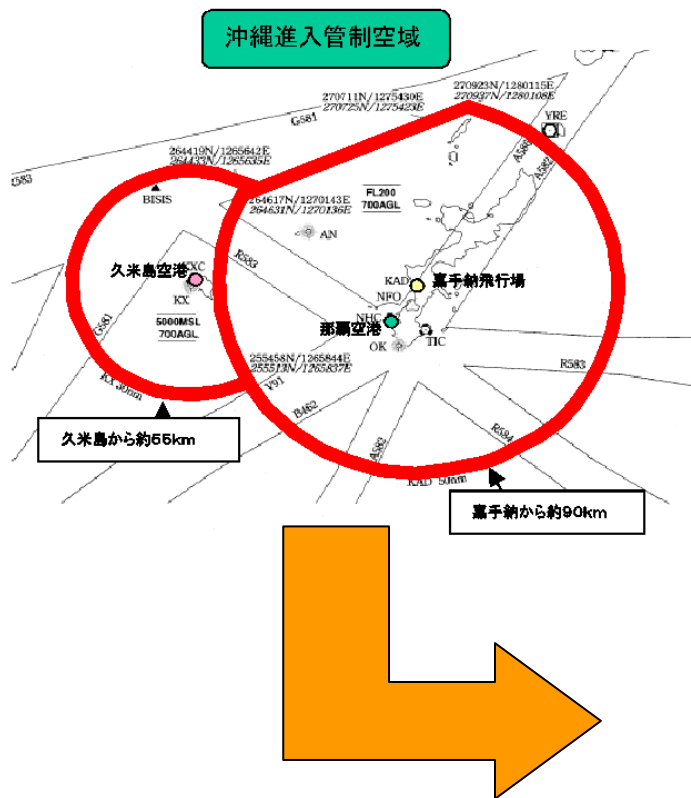
-  航空局管轄空域
-  米軍管轄空域
-  航空局管制官
-  米軍管制官

注1: ラプコン (RAPCON: Radar approach controlの略)
レーダー進入管制所の呼称
レーダーを使用して進入管制空域での管制業務 (離陸後の
上昇又は着陸のための降下を行う航空機に対する管制業務)
を行う機関

注2: ラプコン移管後も、嘉手納飛行場等に着陸又は接近する米軍
機に対する連絡調整や誘導のため、数名の米側管制官が
那覇空港において業務を行う。



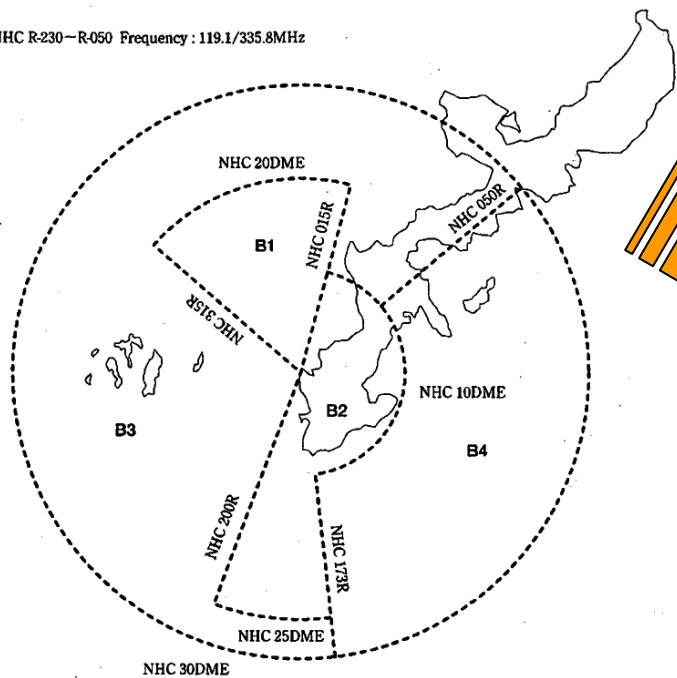
3. 沖縄進入管制空域 ⇒ 那覇進入管制区





4. 沖縄 Class B 空域 ⇒ 那覇特別管制区 (PCA)

NHC R-230-R-050 Frequency : 119.1/335.8MHz



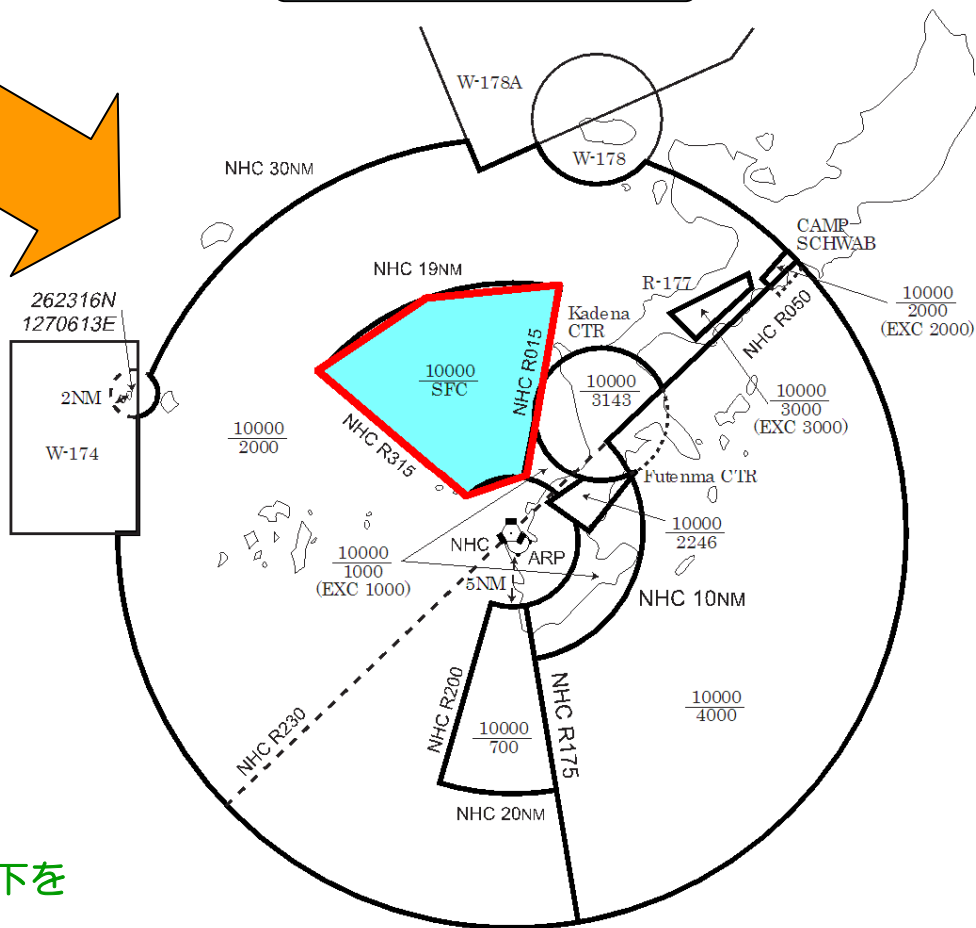
NHC R-050-R-230 Frequency : 126.5/258.3MHz

- B1 : Surface-10,000 feet
- B2 : 1,000-10,000 feet
- B3 : 2,000-10,000 feet
- B4 : 4,000-10,000 feet

(excluding NAHA CTR, KADENA CTR and FUTENMA CTR)

※特管区の下限は、700FTのため SANDO~BOLO間を飛行するVFR機に 管制間隔を設定するために、700FT以下を 那覇の管制圏とした。

那覇特別管制区



700ft未満、那覇管制圏との重複部分



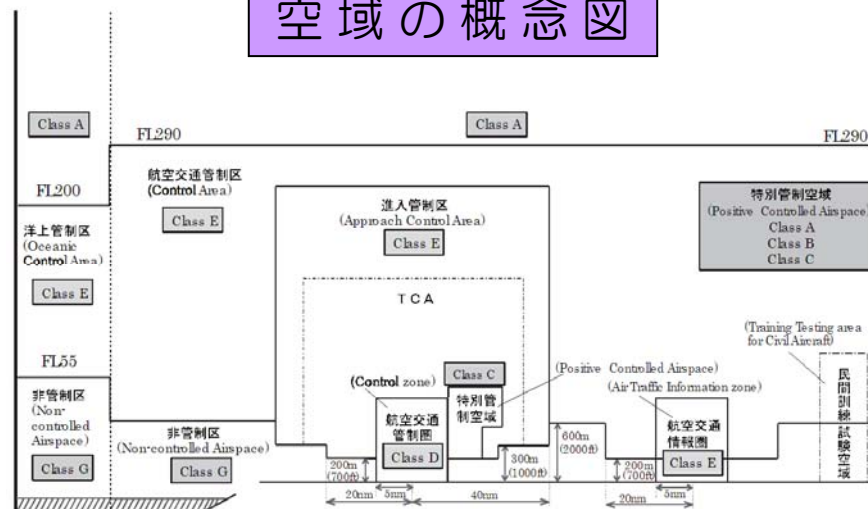
5. Class B 空域とは

	I F R	V F R		
提供業務	管制業務	管制業務		
管制間隔の設定	全ての航空機との間に管制間隔が設定される			
VMC	適用外	飛行視程	雲からの垂直距離	雲からの水平距離
		5000m	上方 150m	下方 300m
速度制限	高度10,000ft以下の空域 / 250kt以下			
無線通信要件	常時双方向			
管制許可	必要			

Class B 空域

航空法第94条の2に規定される特別管制空域のうち特別管制空域Bをいう。

空域の概念図





6. 那覇PCAにおける管制方式

- ☑ 全ての航空機の間には管制間隔が設定される。
但し、VFR機に関しては、レーダーサービス中の場合に限る。
- ☑ 管制圏と特別管制区の重複部分における飛行
 - ☆ 管制権は那覇APPが管轄
 - ☆ VFR機は、VMCを維持して飛行
 - ☆ 那覇空港の気象状態には左右されない
 - ☆ Special VFRによる飛行は許可されない
- ☑ 那覇空港を離陸し、那覇PCAにて飛行しようとするVFR機は、地上走行前に那覇GNDに対し、当該管制圏を離脱する飛行方向又は飛行経路及び要求高度を通報すること。那覇GNDは、那覇APPと通信設定を行う周波数及びSquawkを指定する。



7. おわりに

日本に返還された沖縄の空域ですが、以前と変わらず戦闘機、JET旅客機、小型機、ヘリコプター等、多種多様な航空機が様々な速度で飛行しています。

那覇をベースにしない外来の自家用機が、空域の特性を理解せずに飛行するのが散見されます。一人の間違った飛行が、多くの善良な飛行に多大な迷惑をかけてしまいます。

飛行前には、十分な下調べの上、飛行を楽しんでください。

安全に飛行するのは、我々の責務です。

この資料が、皆様の安全飛行に少しでも寄与できたら幸いです。



参 考 資 料

A I P J A P A N
冲縄地区管制技術交流会 資料

2010年4月1日
社団法人 日本航空機操縦士協会 冲縄支部
文 責 : 屋 良 朝 義

Copuright©:2010 JAPA OKINAWA. All Rights Reserved